

trades!signal
trades!signal

- 株価指数先物取引用 簡易版自動発注ガイド -

Version:090910

trades!signal

トレード・シグナル 5 株価指数先物取引用簡易版自動発注ガイド

目次

1. 注文発注 / 自動発注	3p
a. 注文を出す前に / 発注ルートの作成	4p
b. 注文を出す前に / シンボルの同期	5p
c. 自動発注 / 接続設定	11p
/ 発注開始	13p
d. 開始 / 停止のオプション	14p
e. その他のオプション画面	16p
f. セッション・マネージャ設定	22p
g. ひまわり証券推奨設定	26p
h. 自動発注を行う際の注意事項	29p
~ ご利用前に必ずお読みください。 ~	

日経225つなぎ足 - デスクトップ 1 - TradeSignal 5

ここにシンボルコード、期間、式、インディケータ、または

注文発注

ストラテジー

移動平均 交差 メディアン適応フィ
移動平均 交差 メディアン適応フィ
移動平均 交差 加重 エントリー
移動平均 交差 加重 手仕舞い
移動平均 交差 指数平滑 エントリー
移動平均 交差 指数平滑 手仕舞い
移動平均 交差 単純
移動平均 交差 単純 手仕舞い
移動平均 交差 適応 エントリー
移動平均 交差 適応 手仕舞い
一目均衡表 交差 雲 エントリー
一目均衡表 交差 雲 手仕舞い
一目均衡表 交差 終値と雲 エント
一目均衡表 交差 終値と雲 手仕舞
一目均衡表 交差 転換線と基準線
一目均衡表 交差 転換線と基準線
価格チャンネル 下限バンド エントリー
価格チャンネル 下限バンド 手仕舞い
価格チャンネル 上限バンド エントリー
価格チャンネル 上限バンド 手仕舞い

関連する操作
ストラテジーの作成...
新規ハットゾーン...
ハットゾーンの表示/非表示

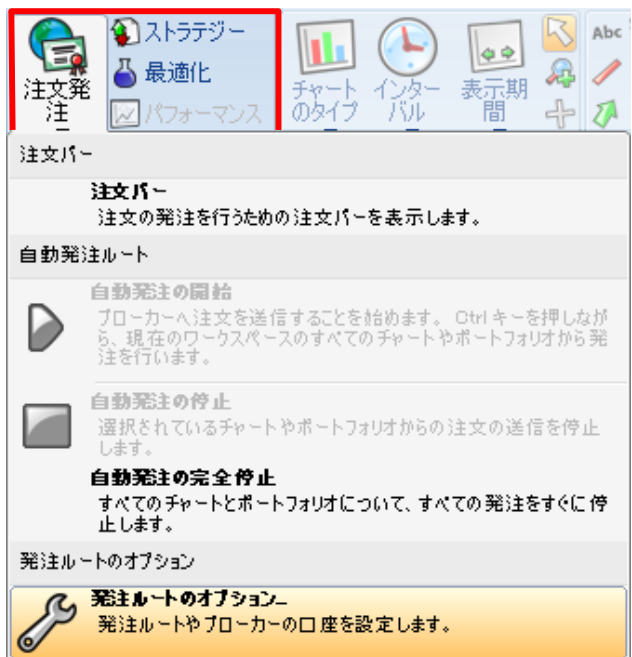
シンボル・リスト
プロパティ
インディケータ
ストラテジー
関数
テンプレート
ワークスペース
ヘルプ

1. 注文発注 / 自動発注

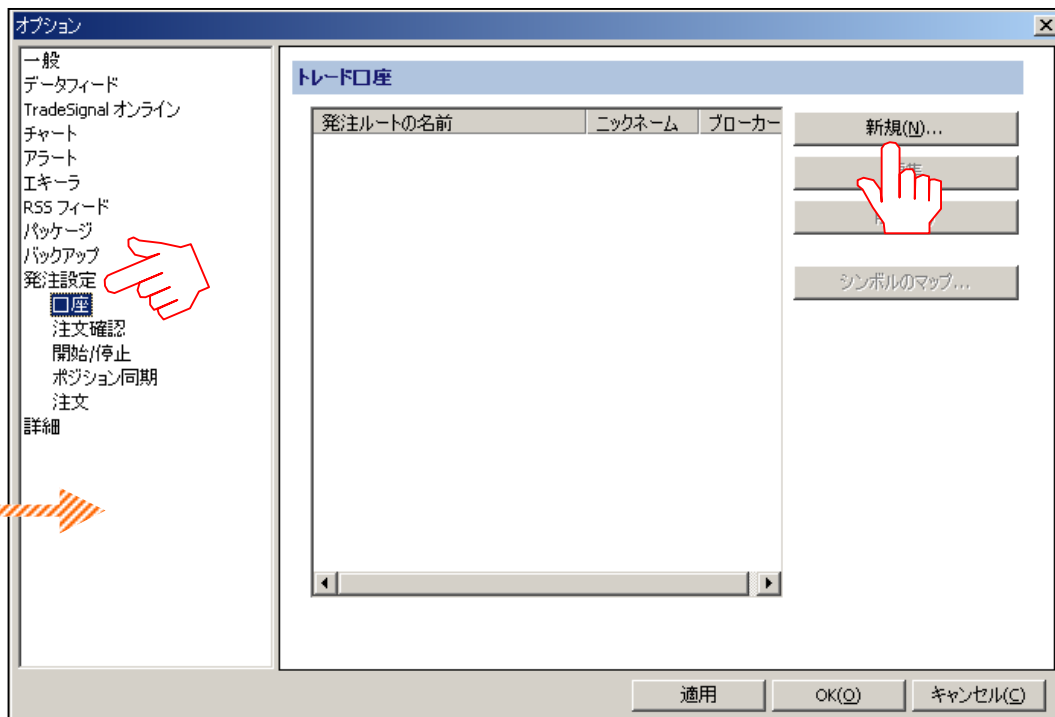
準備完了 10:49

a. 注文の前に / 発注ルートの作成

発注ルートの作成とは、トレードシグナルから出された注文をブローカーに中継する為の取引口座を設定する作業です。



注文発注 発注ルートのオプション 口座 新規



a. 『発注ルート』の作成』手順

発注ルートの編集

注文発注に使用する口座の設定

発注に使用するブローカーを選択してください:
先物


発注ルートの名前を入力してください:

このルートのニックネームを入力してください(8文字以内):

証券口座番号	_____	⊕
パスワード	_____	⊕
監視インターバル	5000	⊖ ⊕
ポジション更新インターバル	15000	⊖ ⊕
HTTP 要求タイムアウト	30000	⊖ ⊕
_____	_____	⊖ ⊕

※ *自動発注機能のリスクについて** (利用にあたり必ずお読みください)
*重要注意事項 (自動発注機能をご利用になる場合は必ずお読みください)

OK(O) キャンセル(C)



ブローカーを選択
先物

発注ルート
任意入力
半角入力のみ

ニックネーム 任意入力
半角入力のみ

証券口座番号・パスワード
先物・オプション取引口座の
口座番号とパスワード

OK (完了)
オプション画面に戻る

【口座の設定失敗】 以下の確認を行ってください。

- 発注ルートの設定は半角入力されていますか？
- ニックネームの設定は半角入力されていますか？
- ユーザーコードとパスワードは合っていますか？
- 必須項目欄は、すべて埋まっていますか？

a. 『発注ルート』の作成』解説

【監視インターバル】
【ポジション更新インターバル】
【HTTP要求タイムアウト】
【注文のグループ化】
【ポジション・マネージャ更新
インターバル】

安定動作のため、左記の各項目の
デフォルト設定を変えないで下さい。
変更した場合、動作が不安定になる
可能性があります。

【引け注文の種類(立会時間終了時のアクション)】

大引けでの決済注文を、エキーラ内のプログラムで設定していると有効になります。

『成行注文』 = 注文設定メニューで指定した時間前に成行注文を送信します。

『引成注文』 = 引成注文を送信します。(その他引け注文の設定方法 => p19)

【口座情報(ポジション・マネージャ)】

『口座情報を表示しない』 = 口座情報なし

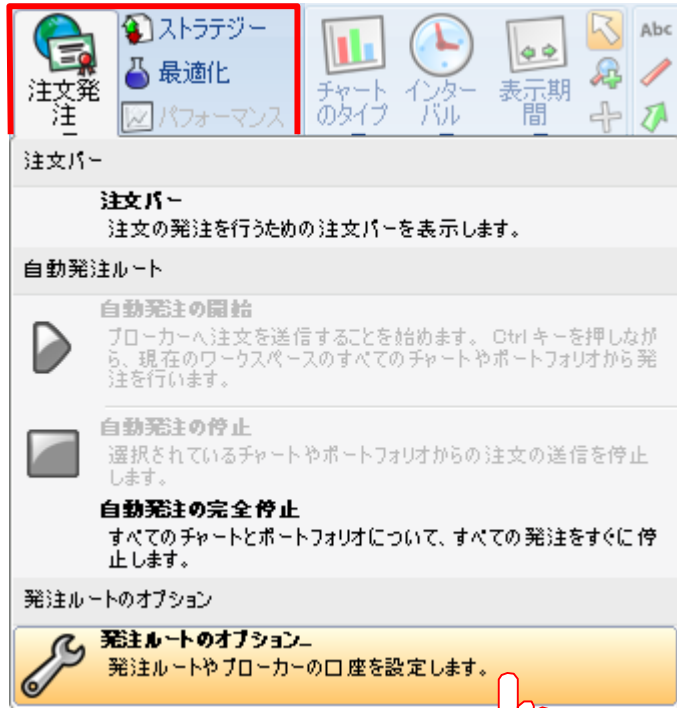
『実取引口座の情報のみ表示する』 = .先物・オプション取引口座の実取引情報

『仮取引の情報のみ表示する』 = .トレードシグナルでの仮想取引情報

『実取引の口座と仮取引の情報を表示する』 = +

同銘柄で複数取引をする際には、別個の発注ルートを設定してください。
発注ルートは、一つの先物&オプション口座で複数作ることが出来ます。

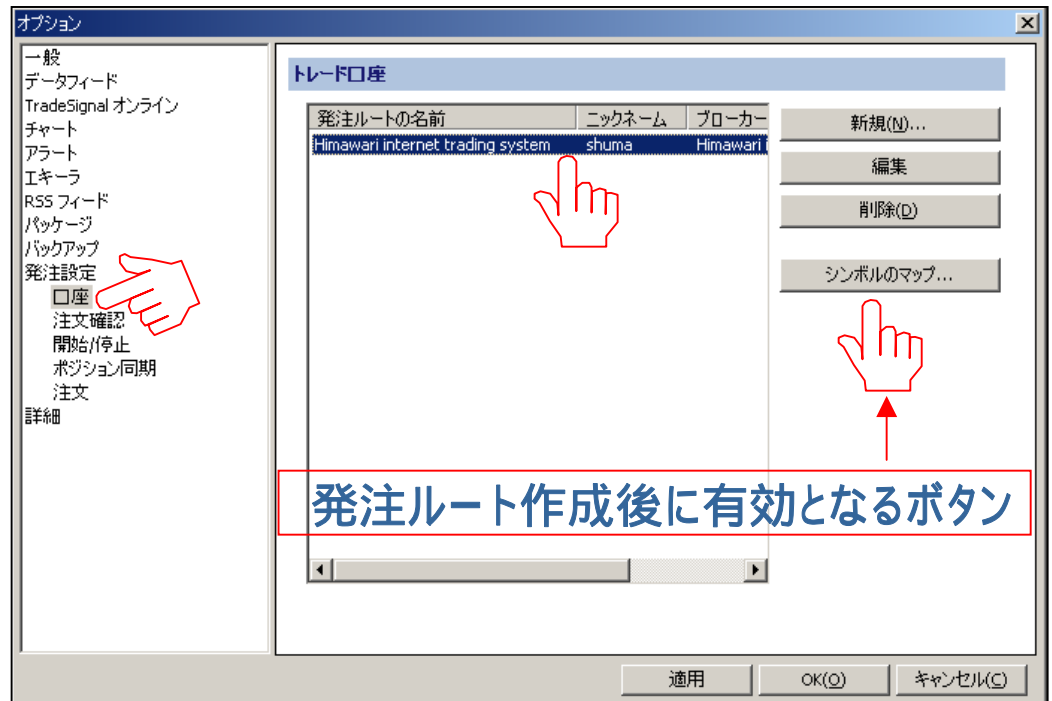
b. 注文の前に / シンボルの同期



発注ルートオプション
口座
発注ルートの選択
シンボルのマップ

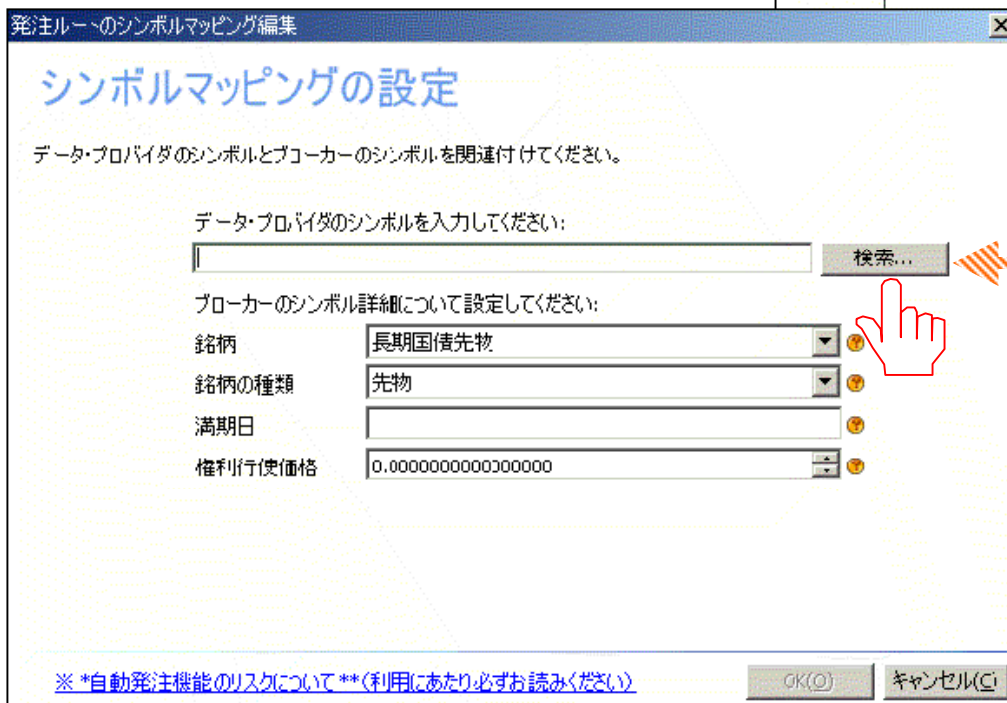
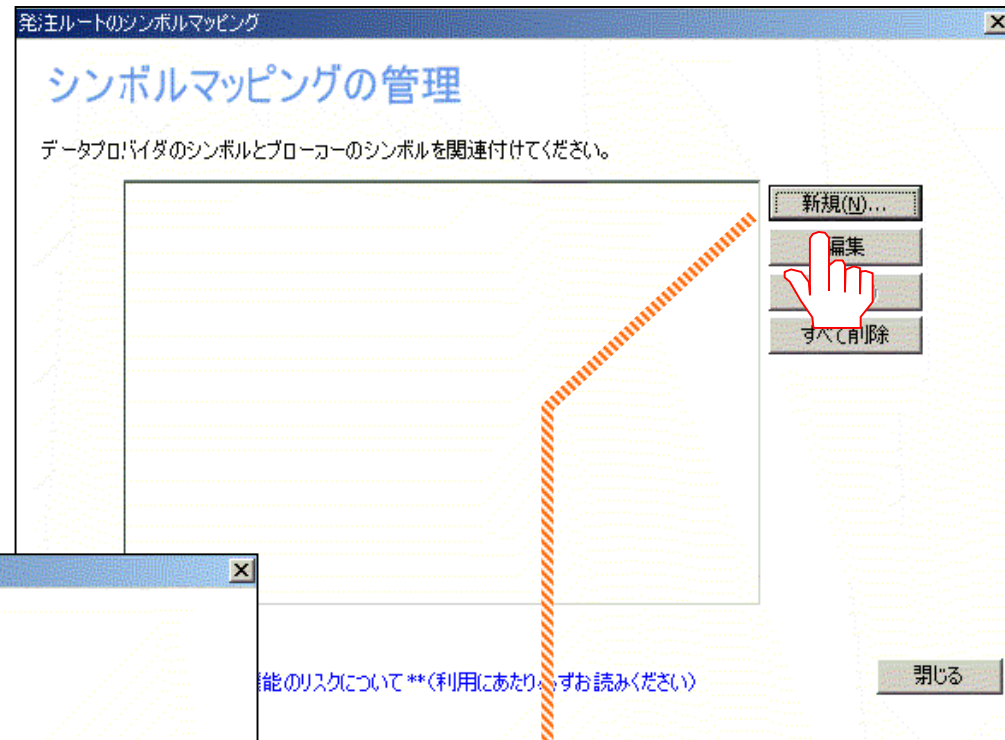
シンボルの同期とは、トレードシグナル上で銘柄を表すシンボルと、ひまわり証券のネット取引の銘柄とを関連付ける作業で、誤発注等を防ぐために、始めに設定する必要があります。

先物・オプション取引口座に連動させるための重要な設定です。



b. 『シンボルの同期』 手順1

シンボルマッピングの管理 新規



シンボルマッピングの設定 検索

シンボルマップの設定は、1回で1つのシンボルについて設定することができます。

b. 『シンボルの同期』手順2

シンボルコードの入力

n 2 2 5

日経225先物 : n225
日経225mini : mn225
TOPIX先物 : topix
日経225先物日通 : nic
日経225mini日通 : nmc

検索実行
限月選択 OK

シンボルの検索

銘柄の分類を選択してください:
すべてのタイプ

取引所を選択してください:
すべての取引所

検索する名称、またはシンボルを入力してください:
N225

すべてのフィー

検索実行

以下の検索結果から選択してください:

名称	シンボル
★日経225先物 2009年9月限	N225 2009U
★日経225先物 2009年6月限	N225 2009M
★日経225先物 2009年12月限	N225 2009Z
★日経225オプション 2011年6月限 プット 9500	N225 2011R 9500 O
★日経225オプション 2011年6月限 プット 9000	N225 2011R 9000 O
★日経225オプション 2011年6月限 プット 8500	N225 2011R 8500 O
★日経225オプション 2011年6月限 プット 8000	N225 2011R 8000 O
★日経225オプション 2011年6月限 プット 16000	N225 2011R 16000 O
★日経225オプション 2011年6月限 プット 15500	N225 2011R 15500 O
★日経225オプション 2011年6月限 プット 15000	N225 2011R 15000 O

OK(O) キャンセル(C)

発注ルートでのシンボルマッピング編集

シンボルマッピングの設定

データ・プロバイダのシンボルとブローカーのシンボルを関連付けてください。

データ・プロバイダのシンボルを入力してください:
N225 2009M

検索...

ブローカーのシンボル詳細について設定してください:

銘柄: 日経225先物

銘柄の種類: 先物

満期日: 200906

権利行使価格: 0.0000000000000000

OK(O) キャンセル(C)

※ *自動発注機能のリスクについて** (利用にあたり必ずお読みください)

銘柄 日経225先物

銘柄の種類 先物

満期日 200906

(N225 2009Mは例として使用しております)

オプションの場合のみ使用

b. 『シンボルの同期』 解説

登録ルートのシンボルマッピング編集

シンボルマッピングの設定

データ・プロバイダのシンボルとブローカーのシンボルを関連付けてください。

データ・プロバイダのシンボルを入力してください:

ブローカーのシンボル詳細について設定してください:

銘柄	<input type="text" value="日経225先物"/>	<input type="button" value="🔍"/>
銘柄の種類	<input type="text" value="先物"/>	<input type="button" value="🔍"/>
満期日	<input type="text" value="200906"/>	<input type="button" value="🔍"/>
権利行使価格	<input type="text" value="0.0000000000000000"/>	<input type="button" value="🔍"/>

※ *自動発注機能のリスクについて** (利用にあたり必ずお読みください)

シンボルコードの一覧

2009H	200903
2009M	200906
2009U	200909
2009Z	200912

【シンボルの設定失敗】 以下の確認を行ってください。

入力したシンボルは先物・オプション取引の口座で取扱っている『日経225先物』、『日経225mini』、『TOPIX先物』ですか？ 入力したシンボルの限月が有効であり、また、限月を満期日の入力と一致させていますか？

ここでの設定を間違えると、異なった銘柄に注文が送信される恐れがあります。
設定は“細心の注意”をもって行わなければなりません。

例) 限月2009/6の『日経225mini』をシンボル入力したが、銘柄を間違えて、『日経225先物』と登録してしまったという場合。

日経225miniのチャートからの発注が、全て日経225先物の注文として発注されてしまいます。

C. 自動発注 / 接続設定

チャートまたはポートフォリオの右下 ウィンド - 表示

非接続状態

3ページの で設定した発注ルート のニックネームが表示されます。

ストラテジー発注 - 視認方法の選択

- 注文発注機能を使用しない
- ポジション・マネージャに注文を反映する

自動発注 - 発注ルートを選択

himawari

FX trade

ストラテジー発注 - 視認方法の選択

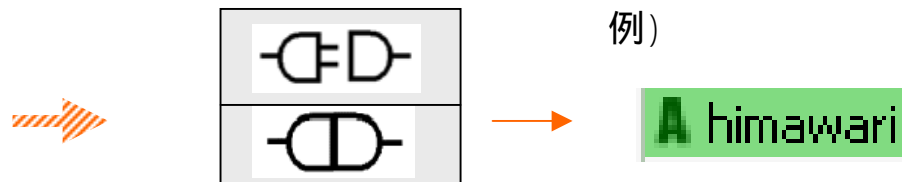
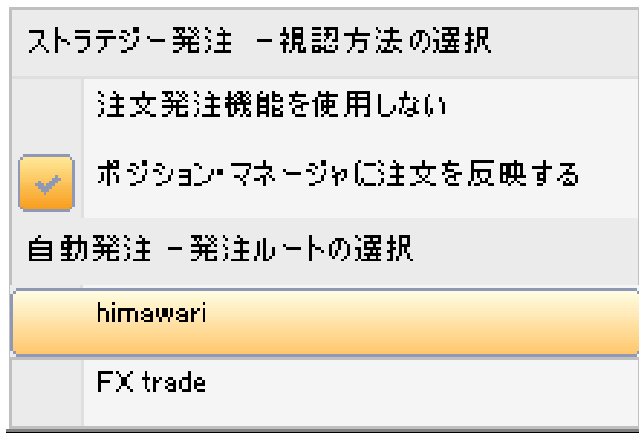
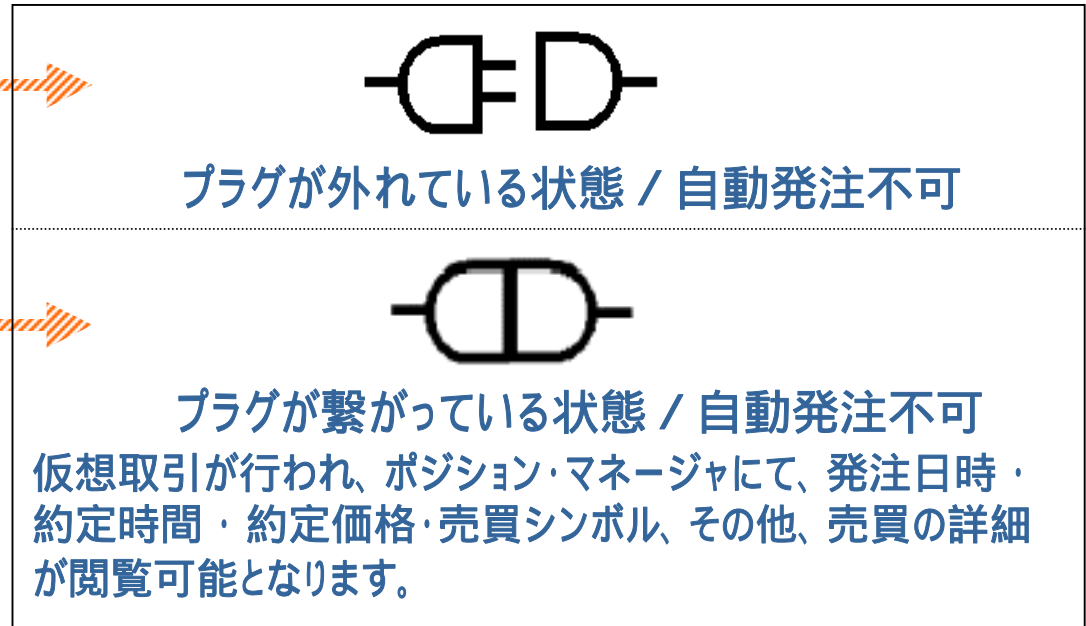
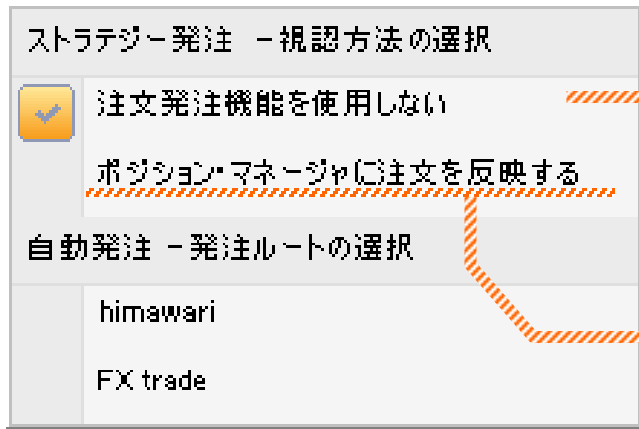
- 注文発注機能を使用しない
- ポジション・マネージャに注文を反映する

自動発注 - 発注ルートを選択

himawari

FX trade

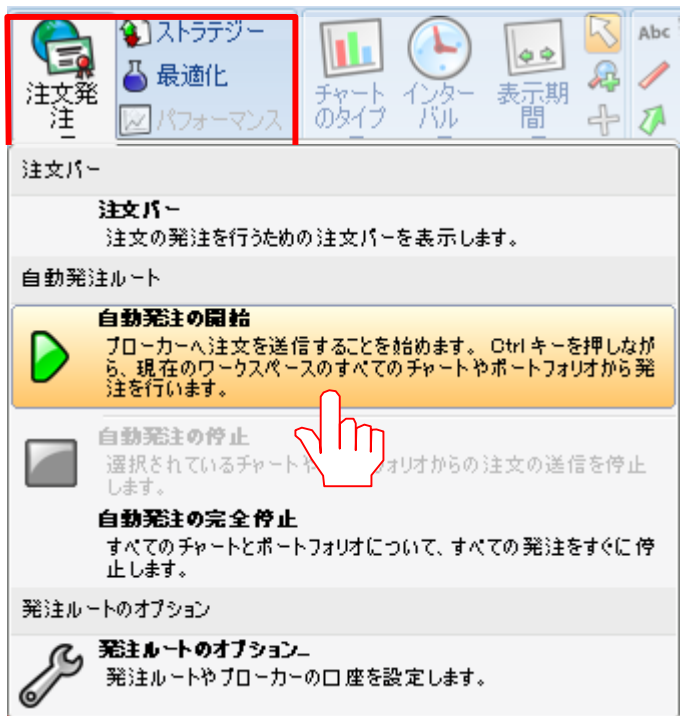
アイコン表示の変化



設定したニックネームが表示 / 自動発注が可能

この時点では、自動発注を行うための設定がまだ不十分なため、自動発注されません。

C. 自動発注 / 発注開始



『自動発注の開始』を行った後は、停止するまで、インディケータ、ストラテジー及びプロパティの変更は出来ません。

接続設定終了後 → 上記ツールバー
注文発注

自動発注の開始

アイコン表示の色の变化

例)

himawari

背景色 / 無色
接続状態: 停止

例)

▲ himawari

背景色 / 緑色または黄色
接続状態: 発注開始

『プラグアイコンの色について』

緑色 = ストラテジーと先物 & オプション口座のポジションが同期している状態

黄色 = ストラテジーと先物 & オプション口座のポジションが同期していない状態

d. 開始 / 停止のオプション

開始/停止

注文発注の開始時と停止時

注文発注
注文
注文

注文バー
注文バー
注文の発注を行うための注文バーを表示します。

自動発注ルート

自動発注の開始
ブローカーへ注文を送信することを始めます。Ctrl キーを押しながら、現在のワークスペースのすべてのチャートやポートフォリオから注文を行います。

自動発注の停止
選択されているチャートやポートフォリオからの注文の送信を停止します。

自動発注の完全停止
すべてのチャートとポートフォリオについて、すべての発注をすべて停止します。

発注ルートオプション
発注ルートやブローカーの口座を設定します。

オプション

一般
データフィード
TradeSignal オンライン
チャート
アラート
エキーラ
RSS フィード
パッケージ
バックアップ
発注設定
口座
注文確認
開始/停止
ポジション同期
注文
詳細

自動発注有効時のストラテジーと口座の同期

注文発注の開始時

- ストラテジーの最初のエントリー注文で、口座をストラテジーのポジションに調整する
- 未約定の注文を取消して、最初のエントリー注文で口座のポジションを調整する
- 未約定の注文を取消して、成行注文で口座のポジションを調整する
- 口座のポジションを調整しない

自動発注無効時のアクション

注文発注の停止時

- 未約定の注文を取消す
- 未約定の注文を取消して、ポジションを手仕舞う
- 口座のポジションを調整しない

OK(O) キャンセル(C)

自動発注を一旦停止すると、口座の注文に関するすべての情報が失われるため、トレードシグナルは自動発注停止前に存在していた未約定注文や先物 & オプション口座に残っているポジションなどを把握することが出来なくなります。そのため、想定していないポジションの構築が行われる可能性があります。

d. 『開始 / 停止のオプション』解説

【自動発注有効時の戦略と口座の同期】

- ・ 「戦略の最初のエントリー注文で、口座を戦略のポジションに調整する」

自動発注開始後、一番最初のエントリー注文から先物 & オプション口座のポジションを戦略のポジションに合わせる発注を行います。

- ・ 「未約定の注文を取消して、最初のエントリー注文で口座のポジションを調整する」

自動発注開始後、先物 & オプション口座に未約定で待機している全ての注文を取消して、一番最初のエントリー注文から先物 & オプション口座のポジションを戦略のポジションに合わせる発注を行います。

- ・ 「未約定の注文を取消して、成行注文で口座のポジションを調整する」

自動発注開始後、先物 & オプション口座に未約定で待機している全ての注文を取消して、既に戦略がポジションを保持していれば、先物 & オプション口座へ成行注文を出して、戦略と先物 & オプション口座のポジションを合わせます。ポジションが無い場合は、次のエントリー注文から同期を始めます。

【自動発注無効時のアクション】

- ・ 「未約定の注文を取消す」

先物 & オプション口座に出した注文で、未約定になっている注文をすべて取消した後に、「自動発注を停止」します。保持しているポジションはそのままです。

「未約定の注文を取消して、ポジションを手仕舞う」

先物 & オプション口座に未約定で待機している全ての注文を取消して、「自動発注」有効後に建てたポジションを手仕舞った後に、「自動発注を停止」します。

トレードシグナルが強制終了されるなど、正しい操作で自動発注が停止されなかった場合、上記の処理は行われません。必ず、先物 & オプション口座取引画面から手動で、ポジションの整理などを行って下さい。

=> 推奨設定

e. その他のオプション画面

注文確認 ～ 注文の確認方法の設定～

注文発注
最適化
パフォーマンス

注文バー
注文バー
注文の発注を行うための注文バーを表示します。

自動発注ルート
自動発注の開始
プロカーへ注文を送信することを始めます。Ctrl キーから、現在のワークスペースのすべてのチャートやポートフォリオの注文を行います。

自動発注の停止
選択されているチャートやポートフォリオからの注文の送信を停止します。

自動発注の完全停止
すべてのチャートとポートフォリオについて、すべての発注を停止します。

発注ルートオプション
発注ルートオプション
発注ルートやプロカーの口座を設定します。

オプション

一般
データフィード
チャート
アラート
エキアラ
RSS フィード
パッケージ
バックアップ
発注設定
□ 口座
注文確認
開始/停止
ポジション同期
注文
詳細

手動注文の確認方法

注文の送信時に確認のダイアログを表示する

毎回 いいえ(推奨しません)

ストラテジー注文の確認方法

注文の確認方法

手動の確認を省略して、すべての注文を自動的にプロカーへ送信する

手動で確認してから、すべての注文をプロカーへ送信する

手動の確認を行うまで待つ

待ち時間が過ぎたら、自動的に注文する

待ち時間が過ぎたら、注文を取り止める

待ち時間が過ぎたら、注文を取り止めて、自動発注を停止する

手動の確認を待つ時間(秒) 60

注文変更の確認を自動にする

注文取消の確認を自動にする

適用 OK(O) キャンセル(C)

【注文変更 / 取消しの確認設定】
確認のダイアログの有無を選択
することが出来ます。

e. 『注文確認』解説

【手動の確認を省略して、すべての注文を自動的にブローカー(先物&オプション口座)へ送信する】

「自動発注」によって出された全ての注文が対象です。

全ての注文に対して、確認のダイアログは一切出ません。(完全自動発注)

【手動で確認してから、すべての注文をブローカー(先物&オプション口座)に送信する】

「自動発注」によって出された全ての注文が対象です。確認方法は、以下の4つです。

- ・ 「手動の確認を行うまで待つ」
全ての注文に対して確認のダイアログが表示されます。「注文を発注する」をクリックするまで、注文は送信されません。
- ・ 「待ち時間が過ぎたら、自動的に注文をする」
指定した時間が経過するまでに「注文を発注しない」をクリックしなければ、その注文は先物&オプション口座へ送信されます。
- ・ 「待ち時間が過ぎたら、注文を取り止める」
指定した時間が経過するまでに「注文を発注する」をクリックしなければ、その注文の発注は中止されます。
- ・ 「待ち時間が過ぎたら、注文を取り止めて、自動発注を停止する」
指定した時間が経過するまでに「注文を発注する」をクリックしなければ、その注文の発注は中止され、同時に、そのチャートまたはポートフォリオの「自動発注」機能も停止されます。

注文発注

ストラテジー
最適化
パフォーマンス

注文バー

注文バー
注文の発注を行うための注文バーを表示します。

自動発注ルート

自動発注の開始
ブローカーへ注文を送信することを始めます。Ctrl キーを
ら、現在のワークスペースのすべてのチャートやポートフォ
リオから注文を行います。

自動発注の停止
選択されているチャートやポートフォリオからの注文の送信
を停止します。

自動発注の完全停止
すべてのチャートとポートフォリオについて、すべての発注を
停止します。

発注ルートのオプション

発注ルートのオプション
発注ルートやブローカーの口座を設定します。

ポジション同期 ～同期が取れていない場合の動作設定～

オプション

一般
データフィード
チャート
アラート
エキストラ
RSS フィード
パッケージ
バックアップ
発注設定
口座
注文確認
開始/停止
ポジション同期
注文
詳細

ストラテジーと口座ポジションの同期確認

同期が取れない場合の設定

- 口座とストラテジーのポジションが同期しているか確認する。同期していない場合:
 - すべての未約定の注文を取消して、ポジションを同期するために成行注文を送信する
 - すべての未約定の注文を取消して、手仕舞い注文を送信して、次のエントリーの注文で同期する
 - 次のエントリー注文でポジションを同期する
 - すべての未約定の注文を取消して、口座のポジションを手仕舞い、次のエントリー注文でポジションを同期する
 - 自動発注を停止して、アラートでユーザーに通知する
 - アラートでユーザーに通知する

口座とストラテジーのポジションが同期するまで待つ期間(秒): 40

口座とストラテジーの同期が時間切れになるまでの時間(秒): 20

適用 OK(O) キャンセル(C)

自動発注を一旦停止すると、口座の注文に関するすべての情報が失われるため、トレードシグナルは自動発注停止前に存在していた未約定注文や先物 & オプション口座に残っているポジションを把握することが出来なくなります。自動発注停止時に先物 & オプション口座上に未決済ポジションが残った場合、再開時には当該ポジションが認識されず、同期機能により、新たなポジションが追加される可能性があります。

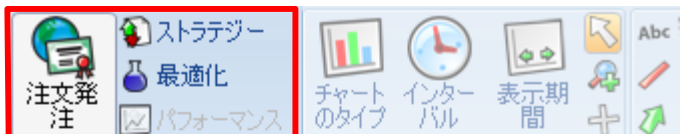
e. 『ポジション同期』 解説

【ポジションの同期が取れていない状態に陥っていると分かったとき、TradeSignalが、どのような動作をすればよいか、6つの選択肢から選択することが出来ます】

- ・ 「すべての未約定の注文を取消して、ポジションを同期するために成行注文を送信する」
未約定で待機しているすべての注文を取消し、先物 & オプション口座へ成行注文を出してストラテジーと先物 & オプション口座のポジションを揃えます。
- ・ 「すべての未約定の注文を取消して、手仕舞い注文を送信して、次のエントリーの注文で同期する」
未約定になっている全ての注文を取消し、残っているポジションがストラテジーで定義している手仕舞い条件を満たせばその注文を送信し、次の注文時にポジションを揃えます。
- ・ 「次のエントリー注文でポジションを同期する」
同期が取れていない現在のまま保留して、次のエントリー注文時にポジションを揃えます。

「すべての未約定の注文を取消して、口座のポジションを手仕舞い、次のエントリー注文でポジションを同期する」
未約定で待機している全ての注文を取消し、認識している先物 & オプション口座上のポジションを成行注文で一旦手仕舞い、次のエントリー注文で揃えます。
- ・ 「自動発注を停止して、アラートでユーザーに通知する」
ポジションの同期をせずに、「自動発注」を停止します。また、「ステータスバー」真上にある「すべてのアラート」タブに同期が取れなくなったことを知らせるアラートを表示します。
- ・ 「アラートでユーザーに通知する」
ポジションの同期をせずに、「ステータスバー」真上にある「すべてのアラート」タブに同期が取れなくなったことを知らせるアラートを表示します。

=> 推奨設定



注文バー

注文バー
注文の発注を行うための注文バーを表示します。

自動発注ルート

自動発注の開始
ブローカーへ注文を送信することを始めます。現在のワークスペースのすべてのチャートに注文を行います。

自動発注の停止
選択されているチャートやポートフォリオから停止します。

自動発注の完全停止
すべてのチャートとポートフォリオについて、停止します。

発注ルートのオプション

発注ルートのオプション
発注ルートやブローカーの口座を設定します



オプション

一般
データフィード
チャート
アラート
エキーラ
RSS フィード
パッケージ
バックアップ
発注設定
口座
注文確認
開始/停止
ポジション同期
注文
詳細

ブローカーへの自動発注設定

引け注文の設定

- 引け注文をセッション終了の数分前に送信する
- 時間(分): 5
- 引け注文の送信後、未約定の指値とストップ注文を取消す

ストップと指値の注文設定

- トレードシグナル側で約定確認後に成行注文として送信する
- ブローカーに注文をそのまま送信する: 予想外の約定になっても措置をとらない

常に、新しいバーの開始時に新しい注文を送信する

適用 OK(O) キャンセル(C)



注文 ~ 自動発注時の設定 ~

e. 『注文』解説

【引け注文の設定】

大引けでのポジション決済を確実に行うための設定です。どんなに大きく数値を設定したとしても、使用中のインターバルの最後のバーが作成されてから送信を始めます。

市場が引けてから注文が出されるような設定の場合、引け注文が上手く動作しませんのでご注意ください。
例) 1分足を使用して引け送信1分前に設定、最後のバーが15:11分の場合、すでに市場が引けているため、トレードシグナルで約定していても、先物&オプション口座デリバティブ口座では手仕舞い注文が為されません。

【その他、引け注文に必要な設定】

確実に大引で決済するには、口座設定メニューで「引け注文の種類」を「引成注文」に指定してください。(引け注文の種類」p4)

【エキーラでの命令文】 設定する時間のバーが存在しなければ、注文は出ません。

例) 5分足を使用の場合

```
If time = 1510 then ExitPosition this bar on close ;
```

例) 3分足を使用の場合

```
If time = 1512 then ExitPosition this bar on close ;
```

【ストップと指値の注文設定】

・ 「TradeSignal側で約定確認後に成行注文として送信する」

ストラテジーがシグナルを出した瞬間に、注文を成行として先物&オプション口座へ送ります。ストラテジーの約定価格と実際の約定価格が異なるケースが出てくるかもしれませんが、確実にストラテジーと同じポジションを持つことができます。

f. セッション・マネージャ設定

適切な情報を設定することにより、インディケータの正確な計算値や、ストラテジーの正確なパフォーマンスを求めることができます。



上部ツール『スタイル』内『セッション』を左クリック

- ・ 立会時間
- ・ 休日情報
- ・ シンボル情報

立会時間と休日の設定: 日経225mini 2008年3月限

立会時間 | 休日情報 | シンボル情報

データ・プロバイダの...を利用する

任意に定義した...を利用する

日替わり時刻: 00:00 | タイムゾーン: Asia/Tokyo (Asia/Tokyo)

立会時間の延長:

日曜日	
月曜日	
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	

00:00 02:00 04:00

立会時間と休日の設定: 日経225mini 2008年3月限

立会時間 | 休日情報 | シンボル情報

データ・プロバイダの...を利用する

任意に定義した...を利用する

休日の日付	休日名
2008/02/18	プレジデント・デー

立会時間と休日の設定: 日経225mini 2008年3月限

立会時間 | 休日情報 | シンボル情報

銘柄名

デフォルト 日経225mini 2008年3月限

ロットサイズ(倍率)

デフォルト 100.0000

ティックサイズ(呼値)

デフォルト 5

表示単位

デフォルト 1

OK(O) キャンセル(C)

f. 『シンボル情報』の設定

チャートやポートフォリオにストラテジーを適用している場合に、重要な役割を果たす取引単位や呼値を変更することができます。

立会時間と休日の設定: 日経225mini 月限

立会時間 | 休日情報 | **シンボル情報**

銘柄名
 デフォルト 日経225mini 2009年6月限

ロットサイズ(倍率)
 デフォルト 100.0000

ティックサイズ(呼値)
 デフォルト 5

表示単位
 デフォルト 1

OK(O) キャンセル(C)

- 銘柄名
- 銘柄名の変更設定
- ロットサイズ(倍率)
- 銘柄の倍率設定
- ティックサイズ(呼値)
- 銘柄の呼値設定
- 表示単位
- 小数点以下の表示設定

特にインディケータの正確な計算値や、ストラテジーの正確なパフォーマンスを求めるために、適切なシンボル情報を設定してください。

f. 『シンボル情報』の設定(2)

『シンボル情報』の設定は、自動発注・バックテストに大きく関わってきます。必ず各銘柄ごとに設定を行ってください。

事前にシンボル情報を設定することにより、マネーマネジメントで設定するスリッページや手数料を金額ベースで入力することが出来ます。また、マネーマネジメント・エキータにおけるロスカット設定、利益目標設定などにも深く関わってきます。

- ・『銘柄名』: 任意の銘柄名に変更することが出来ます。チャートなどに反映されます。
- ・『表示単位』: 任意の桁数に変更することが出来ます。

【銘柄】	ロットサイズ (倍率)	ティックサイズ (呼値)
日経225先物 1,000 10
日経225mini 100 5
TOPIX先物 10,000 0.5

g. ひまわり証券推奨設定

自動発注機能に固有のリスクを回避するため、ひまわり証券は以下の操作を推奨いたします。

- ・常に、ひまわり証券の発注システム(先物・オプションWEB / シストレ口座)の取引画面でポジションや注文の状況を確認する。
- ・発注設定で「手動で確認してから、すべての注文をブローカーへ送信する」を選択する。
- ・株価指数先物取引での自動発注切断時または再開時には、ひまわり証券の発注システム(先物・オプションWEB / シストレ口座)の取引画面から既存のポジションの決済や未約定注文の取消を手動で行う。

トレードシグナルは、先物&オプション口座との自動発注接続が一度でも切断されると、それ以前に保有していた先物&オプション口座上のポジションや未約定注文を一切認識できなくなります。そのため、再接続後には、お客様 の想定していない取引やポジションの構築が行われ、過大なリスクを被る場合があります。

自動発注機能は、仕組みや設定が複雑なため、使いこなすには十分な理解が必要です。トレードシグナルの利用によって、損失や得べかりし利益が発生したとしても、ひまわり証券は一切の責任を負いません。

手動注文の確認方法

注文の送信時に確認のダイアログを表示する

- 毎回 いいえ(推奨しません)

ストラテジー注文の確認方法

注文の確認方法

- 手動の確認を省略して、すべての注文を自動的にブローカーへ送信する
 手動で確認してから、すべての注文をブローカーへ送信する

- 手動の確認を行うまで待つ
 待ち時間が過ぎたら、自動的に注文する
 待ち時間が過ぎたら、注文を取り止める
 待ち時間が過ぎたら、注文を取り止めて、自動発注を停止する

手動の確認を待つ時間(秒)

- 注文変更の確認を自動にする
 注文取消の確認を自動にする

自動発注有効時のストラテジーと口座の同期

注文発注の開始時

- ストラテジーの最初のエントリー注文で、口座をストラテジーのポジションに調整する
 未約定の注文を取消して、最初のエントリー注文で口座のポジションを調整する
 未約定の注文を取消して、成行注文で口座のポジションを調整する
 口座のポジションを調整しない

自動発注無効時のアクション

注文発注の停止時

- 未約定の注文を取消す
 未約定の注文を取消して、ポジションを手仕舞う
 口座のポジションを調整しない

g. ひまわり証券推奨設定 注文確認

- ・ 手動で確認 **チェックを入れる**
- ・ 待ち時間が過ぎたら、注文を取り止めて、**自動発注を停止する。**
チェックを入れる
- ・ 手動確認時間 **デフォルト**
- ・ 注文変更 / 取消を自動にする
チェックを入れない

開始 / 停止

- ・ 口座のポジションを調整しない
チェックを入れる
- ・ 未約定の注文を取消して、ポジションを手仕舞う
チェックを入れる

推奨設定は、自動発注機能固有のリスク回避を目的とするもので、利便性の向上を目的とするものではありません。
また、リスクを完全に排除するものでもありません。

ストラテジーと口座ポジションの同期確認

同期が取れない場合の設定

口座とストラテジーのポジションが同期しているか確認してください。同期していない場合:

- すべての未約定の注文を取消して、ポジションを同期するために成行注文を送信する
- すべての未約定の注文を取消して、手仕舞い注文を送信して、次のエントリー注文で同期する
- 次のエントリー注文でポジションを同期する
- すべての未約定の注文を取消して、口座のポジションを手仕舞い、次のエントリー注文でポジションを同期する
- 自動発注を停止して、アラートでユーザーに通知する
- アラートでユーザーに通知する

口座とストラテジーのポジションが同期するまで待つ期間(秒):

口座とストラテジーの同期が時間切れになるまでの時間(秒):

ブローカーへの自動発注設定

引け注文の設定

引け注文をセッション終了の数分前に送信する

時間(分):

引け注文の送信後、未約定の指値とストップ注文を取消す

ストップと指値の注文設定

- トレードシグナル側で約定確認後に成行注文として送信する
- ブローカーに注文をそのまま送信する: 予想外の約定になっても措置をとらない

常に、新しいバーの開始時に新しい注文を送信する

g. ひまわり証券推奨設定

ポジション同期

- ・ 口座とストラテジーが同期しているか確認
チェックを入れる
- ・ すべての未約定の注文を取消して、口座のポジションを手仕舞い、次のエントリー注文でポジションを同期する
チェックを入れる
- ・ 同期に関する時間 デフォルト

注文

- ・ 引け注文の設定 チェック + デフォルト

推奨設定は、自動発注機能固有のリスク回避を目的とするもので、利便性の向上を目的とするものではありません。

また、リスクを完全に排除するものでもありません。

h. 自動発注を行う際の注意事項 ~ ご利用前に必ずお読みください。 ~

自動発注機能の使用には固有のリスクがあります。

トレードシグナルの自動発注機能を使用する場合、仕様により、または設定の仕方によって、**お客様の想定していない取引やポジション構築が行われ、過大なりリスクを被る場合があります。**また、株価指数先物とFXとでは、自動発注において異なる設定や動作がありますので、両方の取引で自動売買を行うお客様は特にご注意ください。

【株価指数先物取引での自動発注】

トレードシグナルは、ひまわり証券の発注システム(先物・オプションWEB)との自動発注接続が一度でも切断されると、**それ以前に保有していた口座上でのポジションや未約定注文を一切認識できなくなります。**そのため、再接続後に以下のようなケースが発生します。

- ・同期機能が働くと、既に口座上にあるポジションと**重複して新たにポジションが構築されます。**
- ・既に口座上にあるポジションと同方向のエントリー注文が発生すると、**重複して新たにポジションが構築されます。**
- ・既に口座上にあるポジションと反対方向のエントリー注文が発生すると、**両建て状態になります。**
- ・切断時に残った未約定注文と重複して新たに注文が発注されるため、**ポジションの重複や両建てなどが発生します。**

【FX取引での自動発注】

・FXの自動発注においては、自動発注切断後もチャート/銘柄の数に応じて切断前のポジションを再認識させることができます。しかしながら、接続障害等により、ポジションの同期が取れなくなった状態をトレードシグナルが認識した時点で、オプションで設定している同期機能が働き、**保有中のポジションが予想外のレートで決済されたり、予想外のレートで新規ポジションが建つ場合があります。**

・FXの自動発注においては、週をまたいで自動売買が有効(「自動発注の開始」ボタンがオンの状態)になっている場合、**一旦メンテナンスの為自動売買が自動的に切断されますが、メンテナンス終了後に自動的に再接続されます。**

自動発注機能は仕組みや設定が複雑なため、使いこなすには十分な理解と馴れが必要です。トレードシグナルの利用によって損失や得べかりし利益が発生したとしても、**ひまわり証券は一切の責任を負いません。**自動発注機能に固有のリスクを回避するため、**以下の操作を強く推奨します。**

- ・常に、ひまわり証券の発注システム(先物・オプションWEB / シストレ口座)の取引画面でポジションや注文の状況を確認する。
- ・発注設定で「手動で確認してから、すべての注文をブローカーへ送信する」を選択する。
- ・株価指数先物取引での自動発注切断時または再開時には、ひまわり証券の発注システム(先物・オプションWEB / シストレ口座)の取引画面から既存のポジションの決済や未約定注文の取消を手動で行う。